



2014年3月期 第2四半期 決算補足資料

トピー工業株式会社



2013年度(2014年3月期) 第2四半期決算について

決算概要



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

売上高は前年同期比3.9%の減収。
営業利益は前年同期比58.4%の減益、営業利益率は2.0%減の1.5%

(単位:億円 < >:%)

	2012年度 2Q累計(A)	2013年度 2Q累計(B)	増減 (B-A)	2013年度 2Q累計当初 予想(C)※	増減 (B-C)
売上高	1,159	1,113	△46	1,110	+3
営業利益 <営業利益率>	40 <3.5>	17 <1.5>	△23 <△2.0>	12 <1.1>	+5 <+0.4>
経常利益	36	12	△24	7	+5
当期純利益	21	4	△17	1	+3
配当(円)	2.0	0.0	△2.0	0.0	±0.0

※2013年5月9日公表値

第2四半期の状況



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

2012年度 第2四半期との比較

◆外部環境

○ー×:環境・影響の評価

海外経済	ー	米国:緩やかな回復 欧州:回復遅れ 新興国:成長鈍化
日本経済	○	政府の経済対策による円高修正、株価上昇
	ー	建設現場の職人不足等により震災復興需要が限定的

◆当社グループ

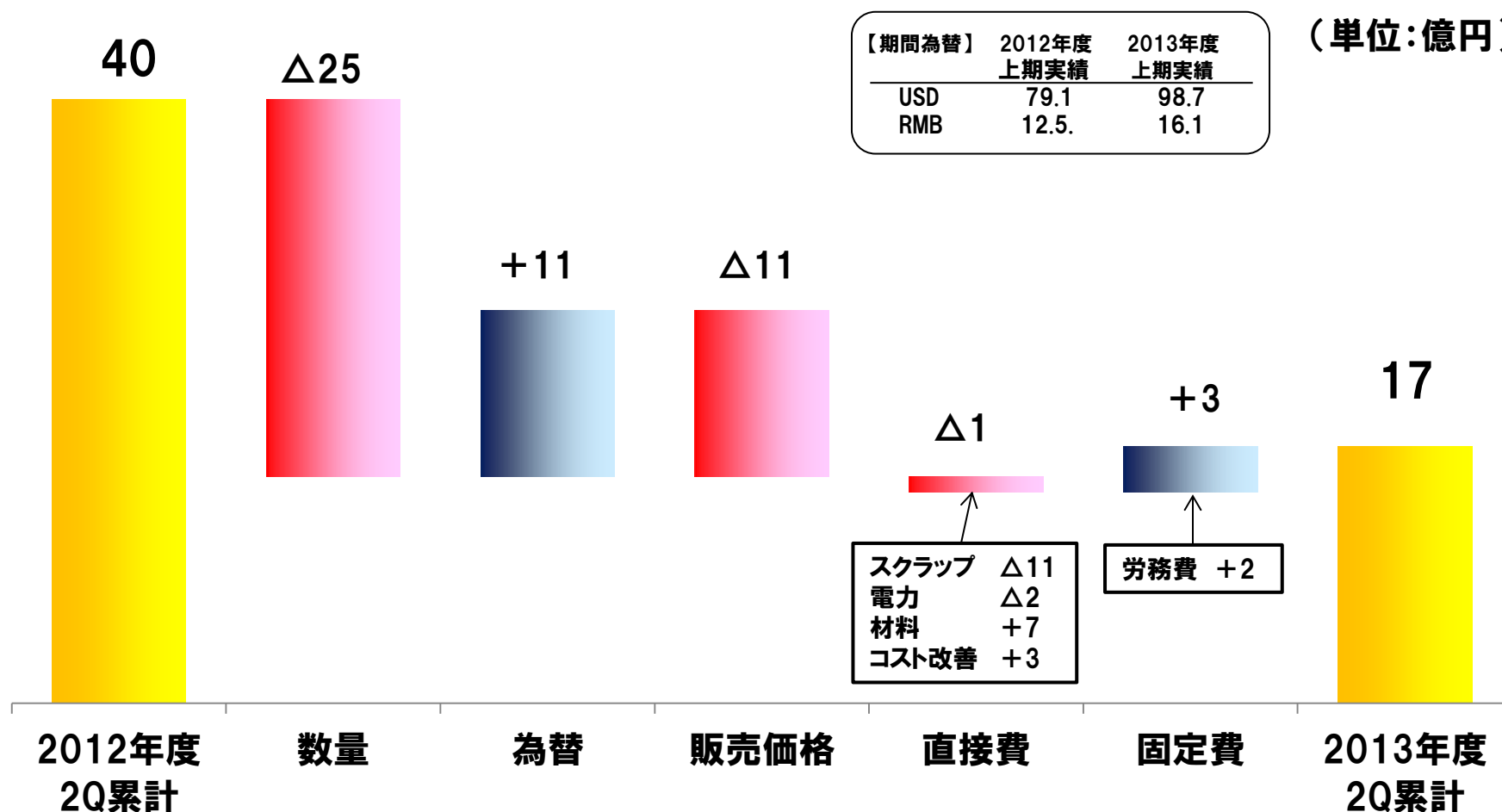
鉄鋼事業	○	コスト改善:製鋼原単位改善 労務費削減 等を推進
	×	社内材:建機用足回り部品向け生産量が低迷
	×	メタルスプレッド:スクラップ価格の上昇による値差縮小
自動車・産業機械部品事業	○	ホイール:国内・海外ともにトラック用好調 中国乗用車用増加
	×	SGOR:鉱山向け需要激減
	×	履板・履帯:東南アジア向け減少

連結営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

SGORおよび履板・履帯の販売減ならびにスクラップ価格の上昇や電力単価の上昇に対してコスト改善を推進したものの、補いきれず23億円の減益



セグメント別業績



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

自動車・産業機械部品事業が大幅に減収減益

(単位:億円)

	2012年度2Q累計(A)		2013年度2Q累計(B)		増 減(B)-(A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼事業	345	4	352	6	+7	+2
自動車・産業 機械部品事業	741	54	693	27	△48	△27
その他	73	5	68	6	△5	+1
消去	—	△23	—	△22	—	+1
連結 計	1,159	40	1,113	17	△46	△23

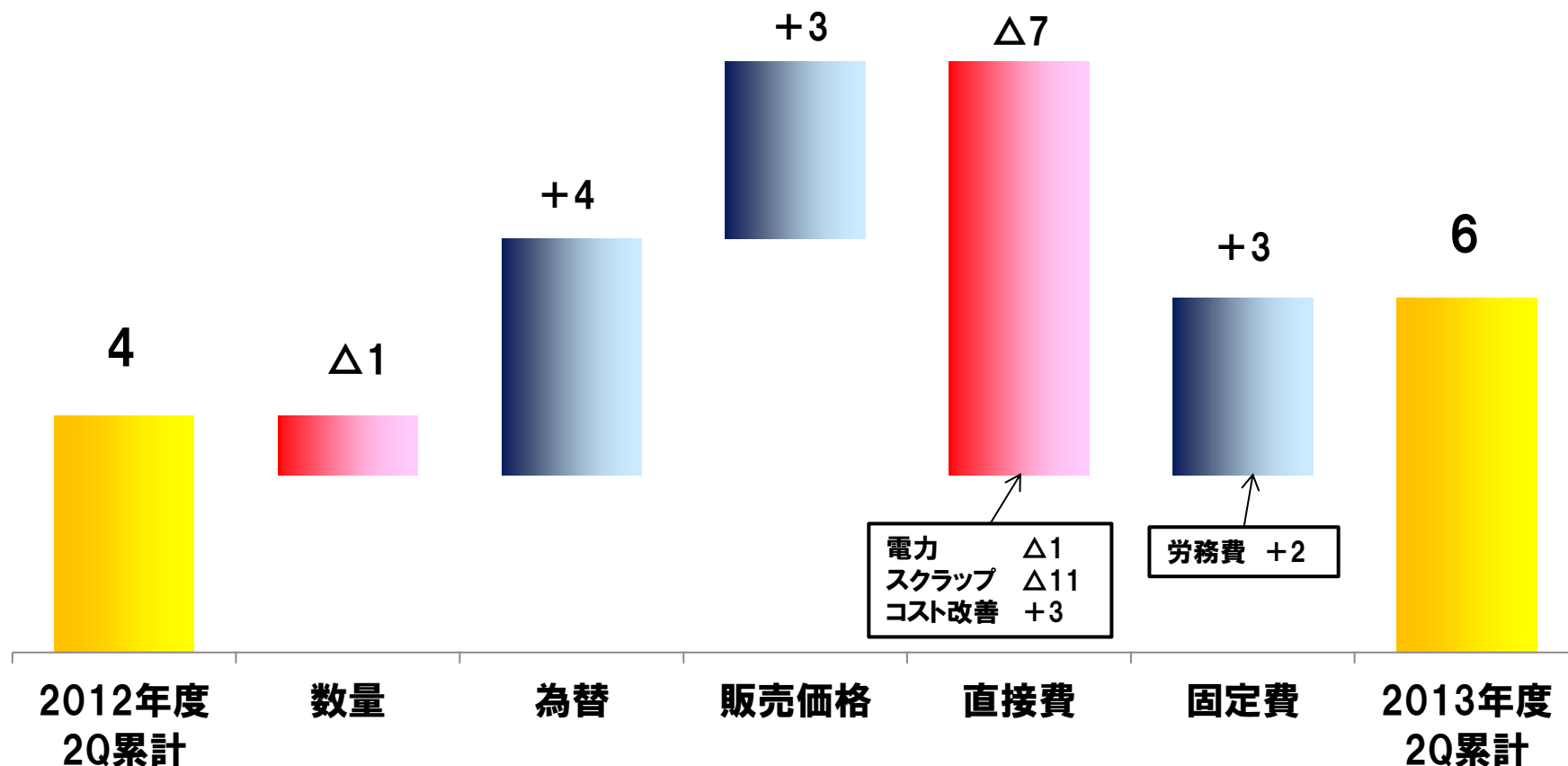
鉄鋼事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

コスト改善による増益を図ったが、スクラップ価格及び電力単価上昇により
2億の増益にとどまった

(単位:億円)

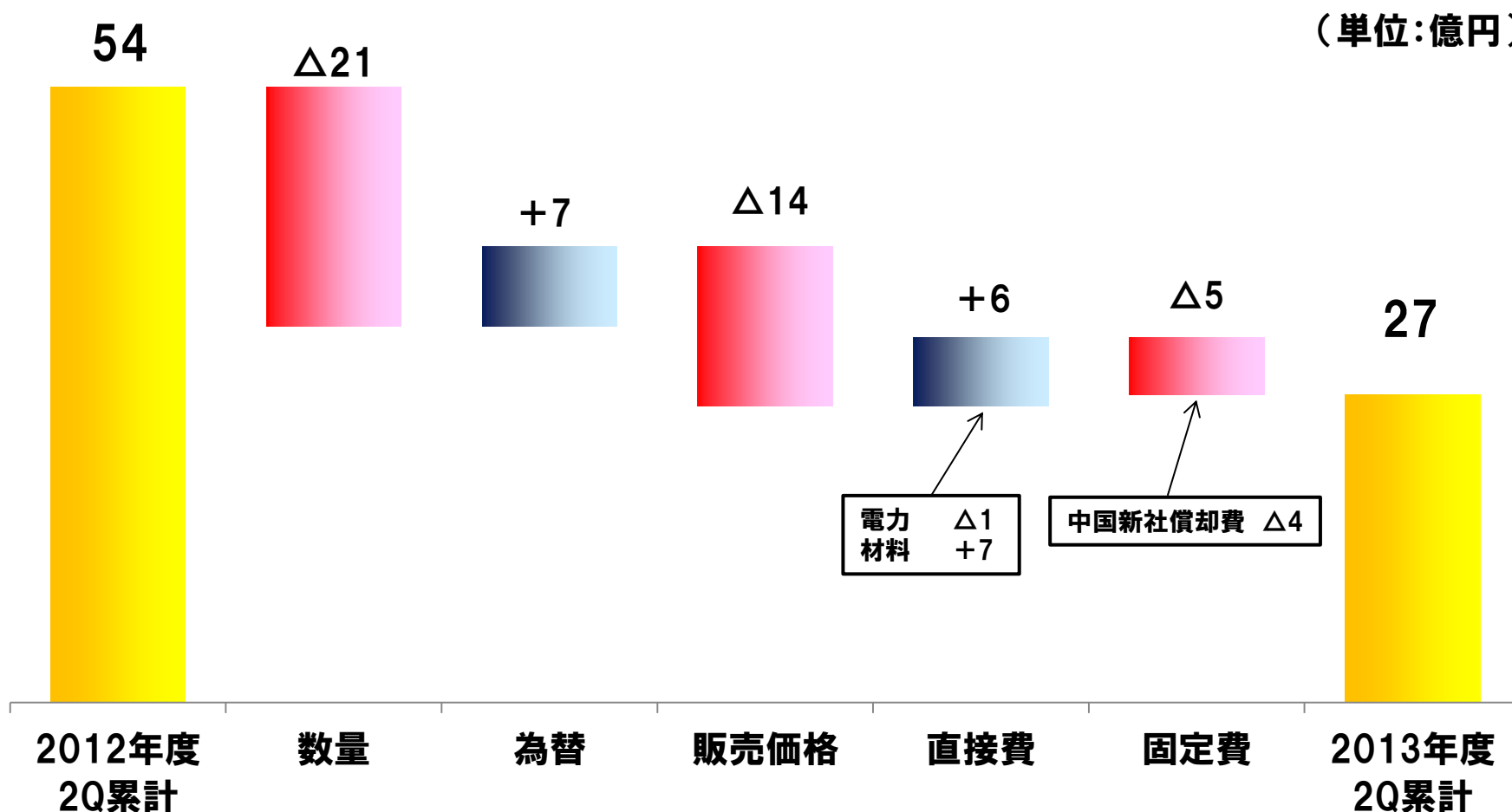


自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

SGORおよび履板・履帯の東南アジア向け販売の減少により27億円の減益



地域別売上高比率



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

前年同期比大きな変動はない

(単位:億円)

	日本	米国	中国	その他	合計
鉄鋼事業	328 29.4%	3 0.3%	- -%	21 1.9%	352 31.6%
自動車・産業機械部品事業	461 41.5%	113 10.1%	66 5.9%	53 4.8%	693 62.3%
その他	67 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	68 6.1%
合計	856 76.9%	116 10.4%	66 5.9%	75 6.8%	1,113 100.0%

<参考>2012年度第2四半期

合計	896 77.3%	122 10.6%	55 4.7%	86 7.4%	1,159 100.0%
----	--------------	--------------	------------	------------	-----------------



2013年度(2014年3月期) 通期業績予想について

通期業績予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

売上高は当初予想比0.4%の減収。
営業利益は当初予想比39.2%の減収、営業利益率は1.3%減の1.9%

(単位:億円 < >:%)

	2013年度 通期当初 予想(A)※	2013年度 通期修正 予想(B)	増減 (B-A)	2012年度 通期実績 (C)	増減 (B-C)
売上高	2,330	2,320	△10	2,269	+51
営業利益 <営業利益率>	74 <3.2>	45 <1.9%>	△29 <△1.3>	70 <3.1>	△25 <△1.2>
経常利益	66	37	△29	62	△25
当期純利益	37	15	△22	34	△19
配当(円)	4.0	2.0	△2.0	4.0	△2.0

※2013年5月9日公表値

2013年度通期業績予想修正の前提



流れるように美しい、技術と品質。 One-piece Cycle

当初通期業績予想(5月9日公表)との比較

◆外部環境

○ー×:環境・影響の評価

海外経済	ー	米国:緩やかな回復 中国:拡大テンポの安定化 欧州:回復遅れ 東南アジア:成長鈍化
日本経済	○	政策効果の発現による景気回復の期待
	○	消費税増税前の駆け込み需要の顕在化

◆当社グループ

鉄鋼事業	○	コスト改善:労務費、修繕費等固定費削減 等を推進
	×	コスト増:電力料金・燃料費増加
	×	メタルスプレッド:スクラップ価格の上昇による値差縮小
自動車・産業機械部品事業	○	ホイール:日米中向け乗用車用増加
	×	SGOR:激減
	×	履板・履帯:中国向けの底入れ、東南アジア向け減少

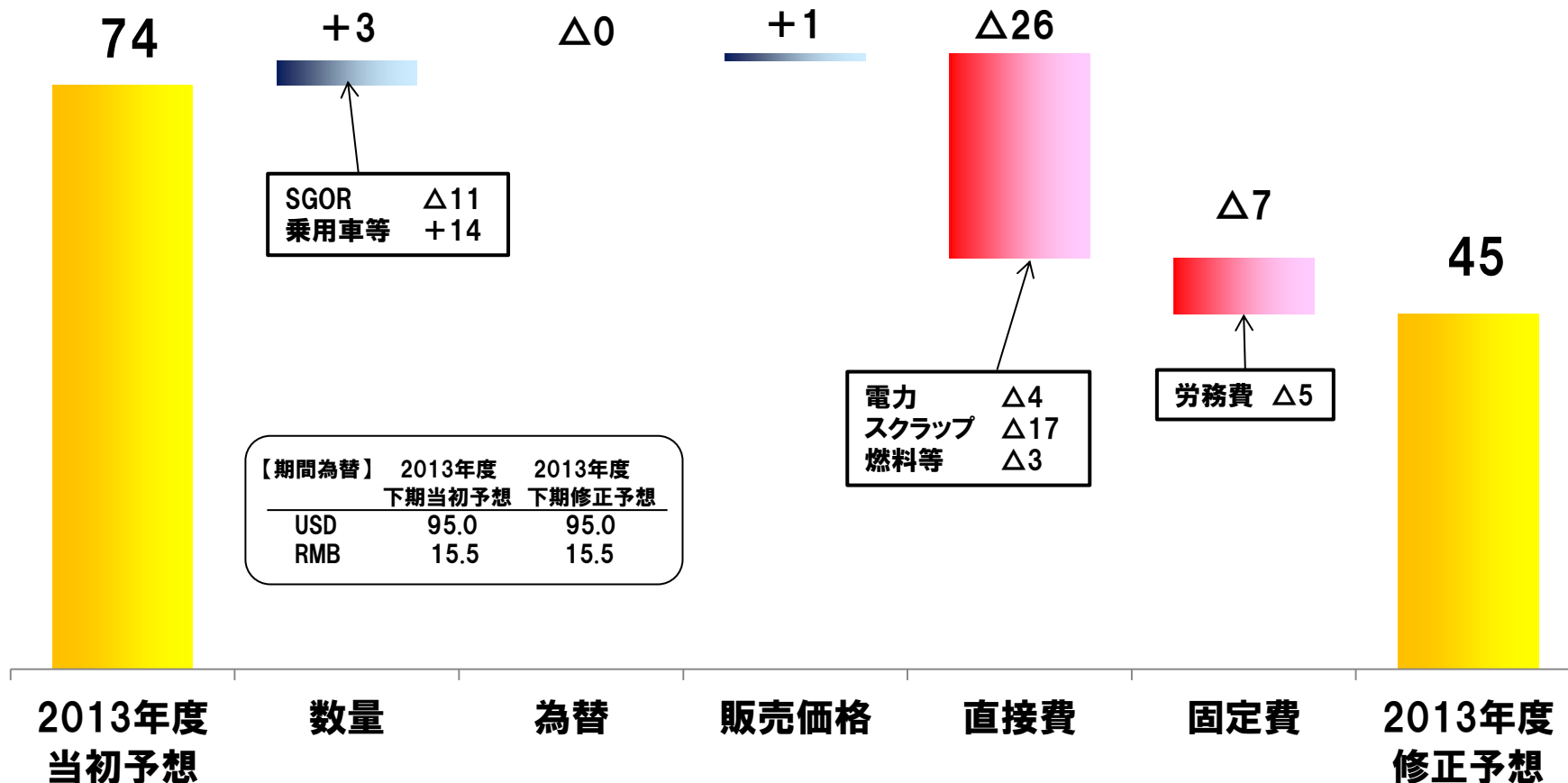
連結営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

乗用車用ホイール販売は増加するものの、SGORおよび履板・履帯の販売減に加え、スクラップ価格等直接費および労務費の増加により29億円の減益

(単位:億円)



セグメント別業績予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

鉄鋼事業は増収減益となり、自動車・産業機械部品事業は減収減益

(単位:億円)

	2012年度 通期実績(A)		2013年度 通期当初予想(B)※		2013年度 通期修正予想(C)		増 減 (C-B)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼事業	676	7	750	31	770	19	+20	△12
自動車・産業 機械部品事業	1,454	100	1,430	81	1,400	64	△30	△17
その他事業	139	5	150	10	150	6	±0	△4
消去	-	△42	-	△48	-	△44	-	+4
連結 計	2,269	70	2,330	74	2,320	45	△10	△29

※2013年5月9日公表値

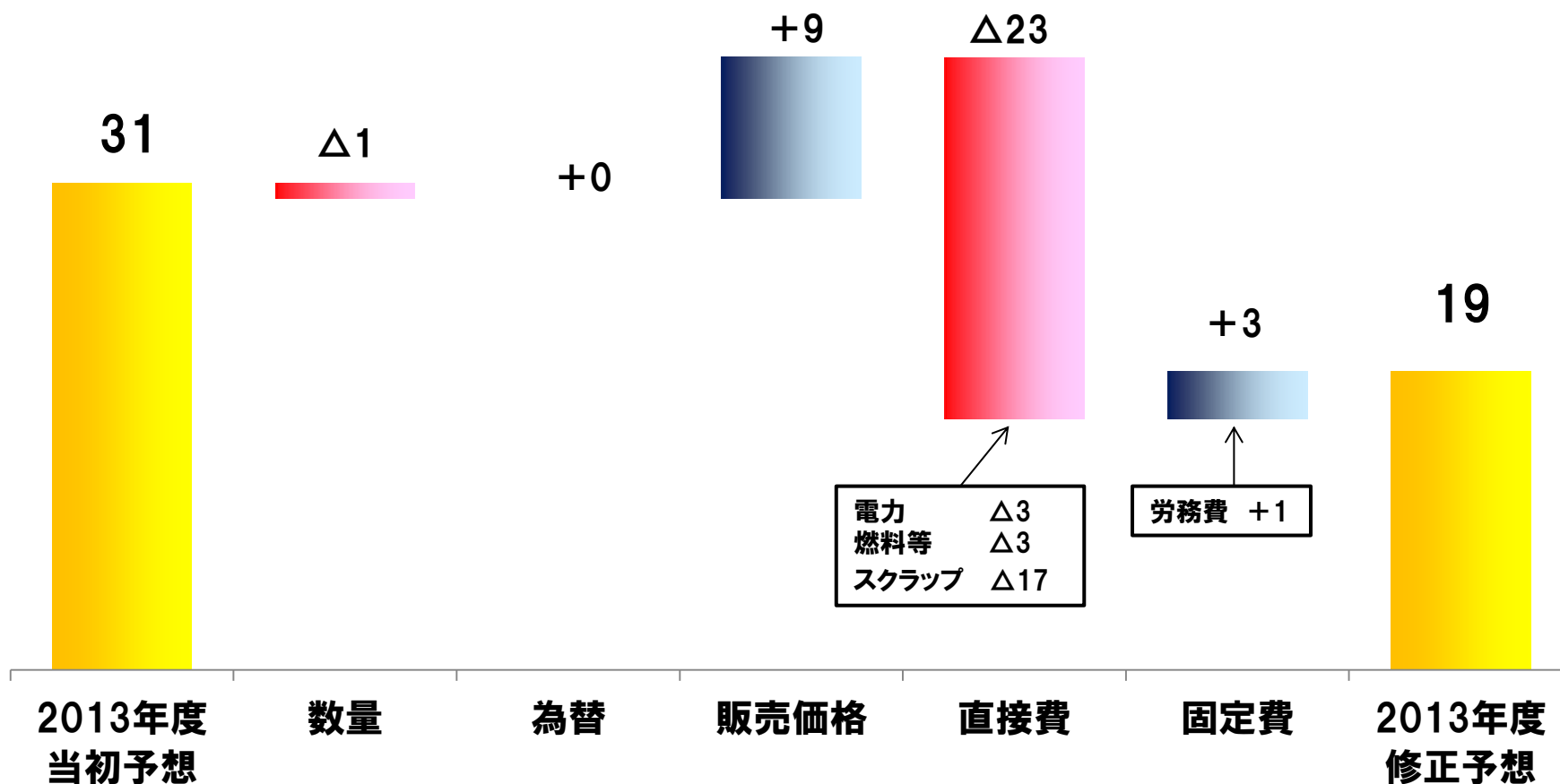
鉄鋼事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

労務費等固定費の削減に努めるが、スクラップ価格および電力単価等の
上昇により12億円の減益

(単位:億円)

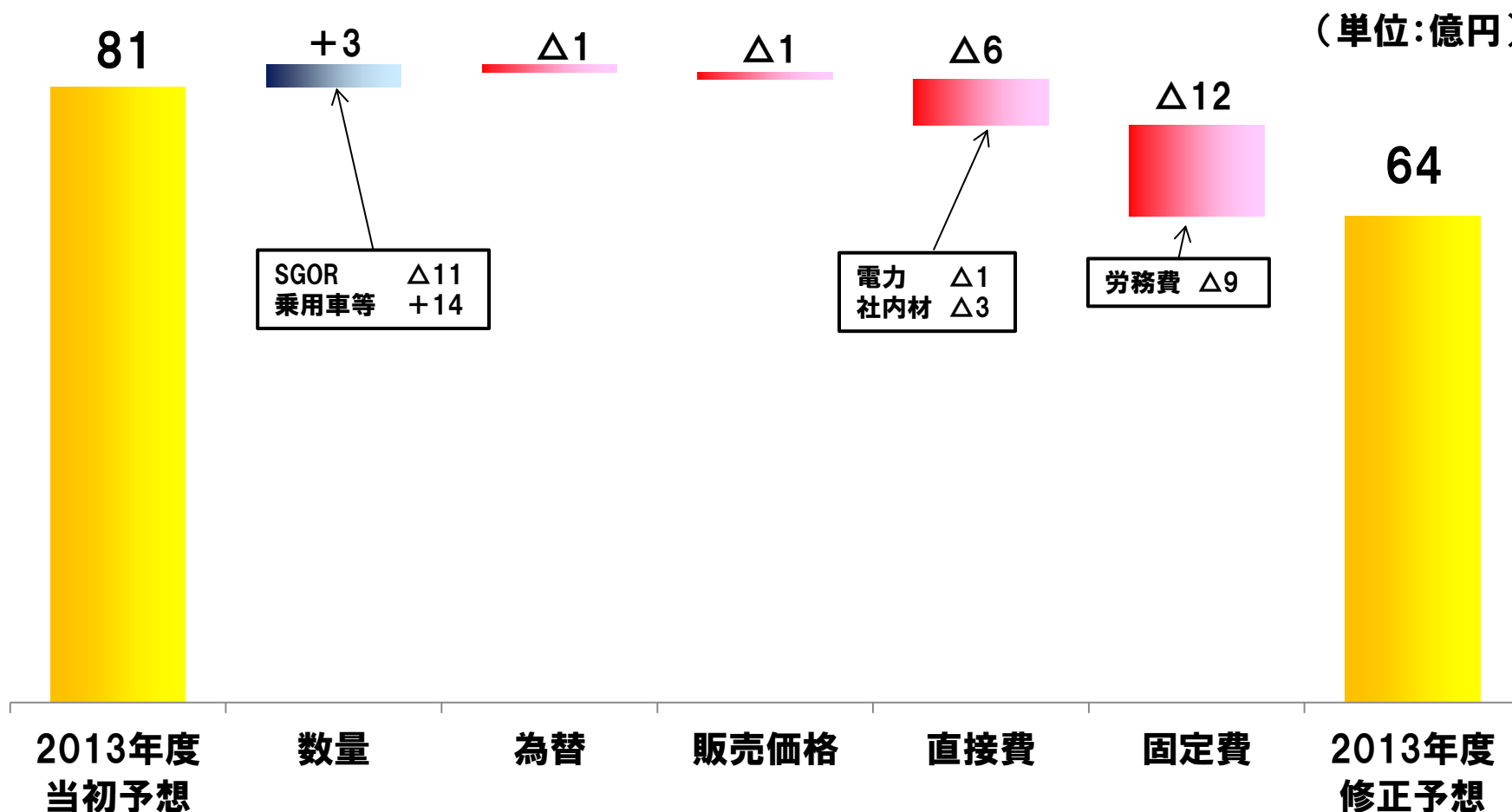


自動車・産業機械部品事業 営業利益増減要因予想



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

乗用車ホイールの販売数増による労務費の増加と、SGORおよび履板・履帯の東南アジア向けの減少より17億円の減益



グループ全社共通施策

- ① 足下の需要減少に対応した収益力の回復
- ② 徹底的な電力費用削減への取り組みを展開

鉄鋼事業

- 抜本的収益力改善を全社で推進

自動車部品事業

- SGOR減産下での収益確保と最適生産・販売体制の構築

産業機械部品事業

- 中国2生産子会社の一体運営の実施
- 国内工場の減産下での収益力強化

設備支払額



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

中期連結経営計画の実行により投資額が増加。主な投資内容は新製鋼工場と海外拠点設立関連

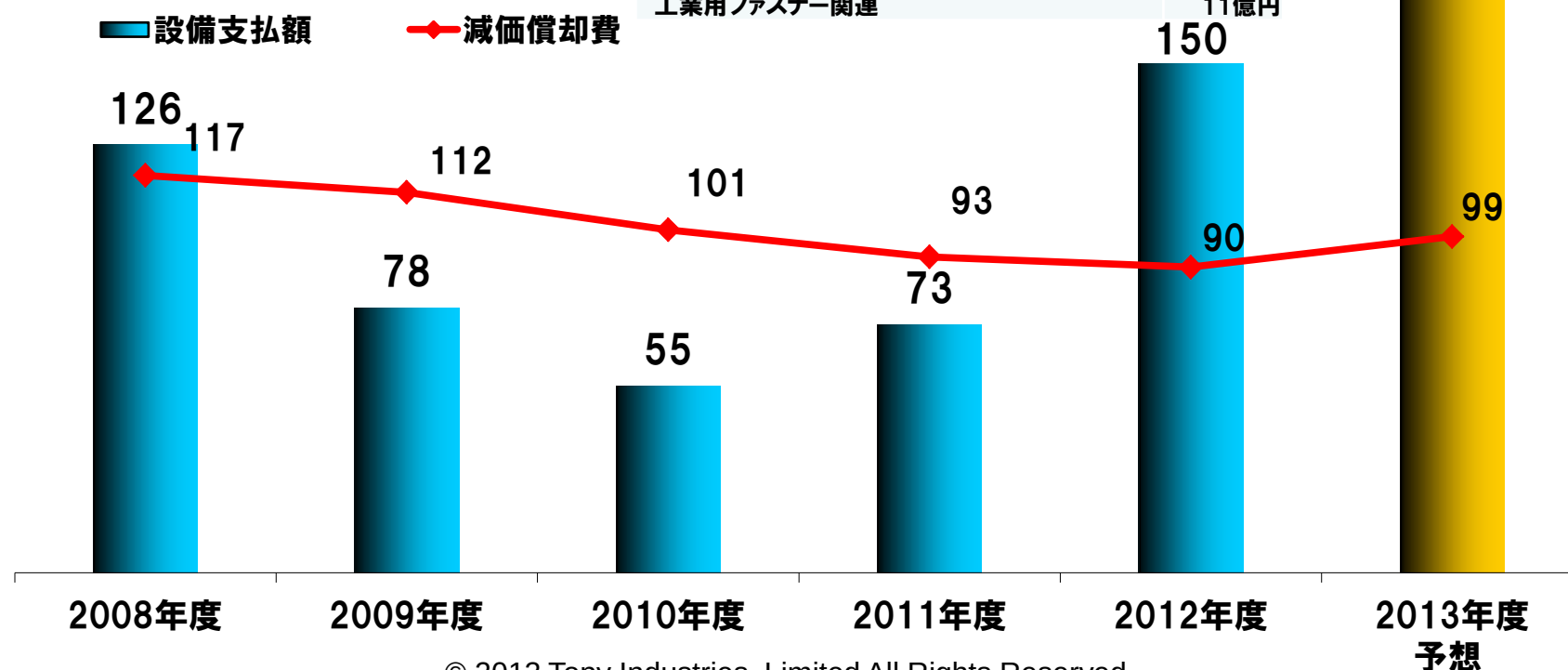
■2012年度 主な投資

豊橋製造所 新製鋼工場	41億円
豊橋製造所 酸素工場	20億円
トピー履帯(中国)有限公司	58億円
天津トピー機械有限公司	3億円
トピーファスナー・ベトナムCo., Ltd.	5億円

■2013年度 主な投資

豊橋製造所 新製鋼工場	76億円
豊橋製造所 酸素工場	9億円
トピー履帯(中国)有限公司	10億円
トピー パリンダ マニファクチャリング インドネシア	55億円
トピー・MW・マニファクチャリング・メキシコ	7億円
乗用車用ホイール関連	14億円
工業用ファスナー関連	11億円

(単位:億円)

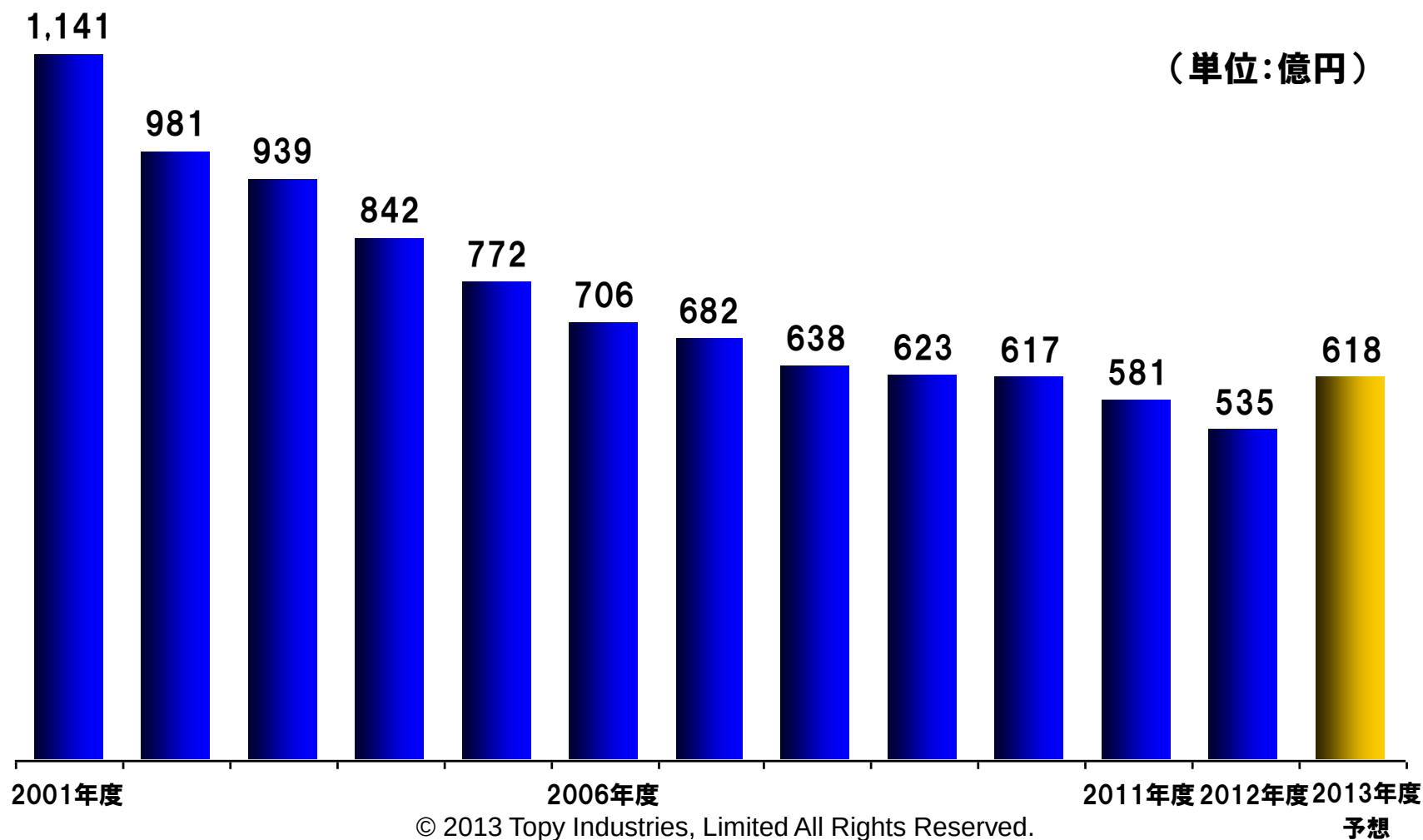


有利子負債



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

2013年度は618億円(対前年比+83億円)を予定



中期連結経営計画 「Growth & Change 2015」 の進捗状況について

中期連結経営計画 Growth & Change 2015



流れるように美しい、技術と品質。 *One-piece Cycle*

基本方針

グローバルでの成長と高収益体質への変革

■海外事業の量的成長

成長する新興国市場への対応

グローバルレベルで勝ち抜く事業基盤の実現

■国内事業の質的成長

強靱なコスト競争力の実現

競争力の高い商品、卓越した技術を武器に

高付加価値品を拡大

海外展開を支えるマザー工場としての機能強化

数値目標

売上高営業利益率	6.4%
自己資本利益率(ROE)	9.6%
総資産利益率(ROA)	7.3%
D / E レシオ	0.66

計数計画

売上高	2,815億円
(海外売上高比率)	25%
営業利益	180億円
当期利益	100億円

重点テーマ

海外事業の拡充(量的成長)

1. グローバルシェアの維持・拡大
2. グローバル供給体制の強化

国内事業基盤の強化(質的変革)

1. 製鋼設備の新鋭化による製造コストの抜本的改善
2. 生産性向上「つくりの変革」・原価低減活動の深化
3. 戦略・高付加価値製品の開発と拡販

経営の高度化

1. 業務プロセスの改革
2. グローバルでのグループ経営の高度化
3. グローバルで戦える技術力の強化
4. リスクマネジメントシステムの深化

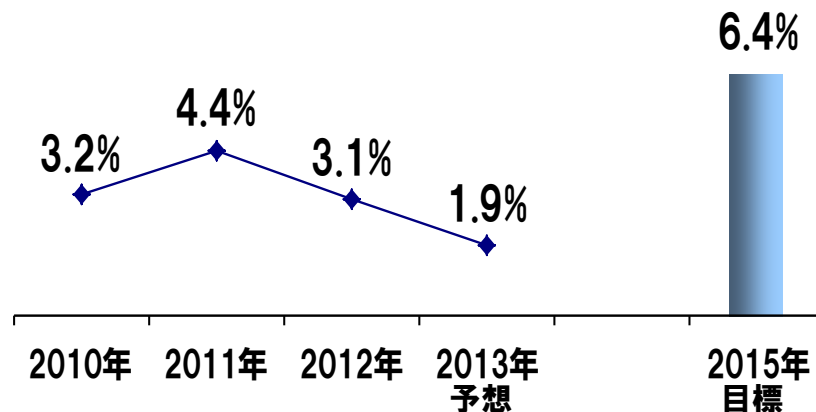
数値目標 推移



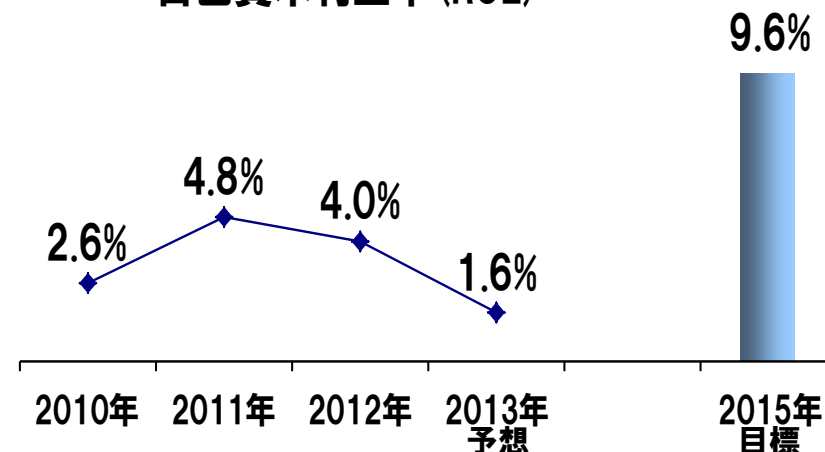
流れるように美しい、技術と品質。

One-piece Cycle

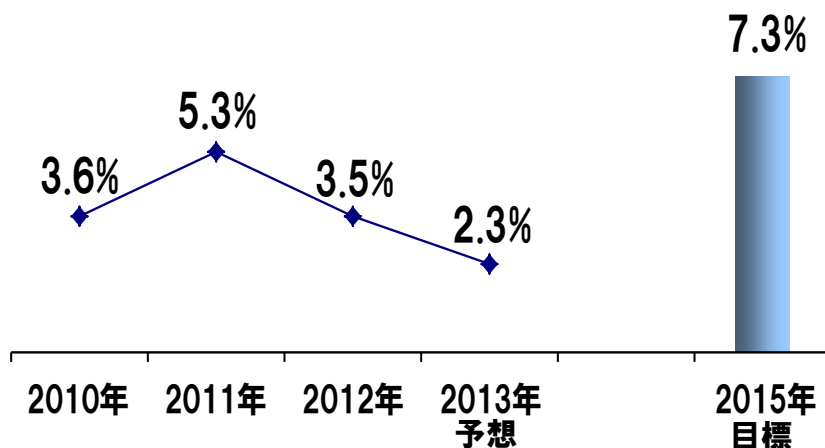
売上高営業利益率



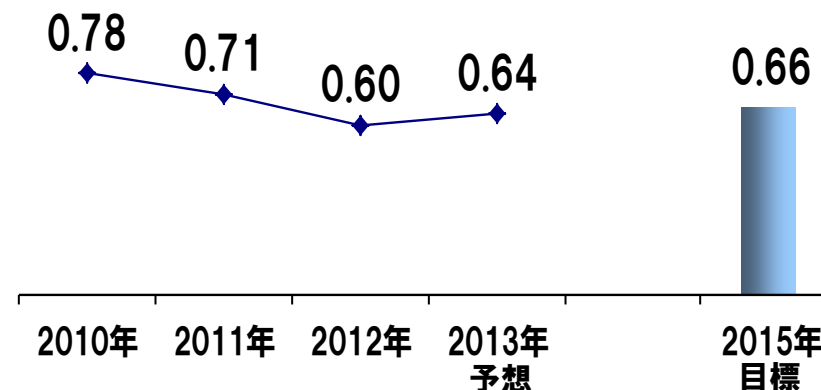
自己資本利益率 (ROE)



総資産利益率 (ROA)



D/Eレシオ





本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、資料作成時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害につきましても、当社は一切責任を負いません。

One-piece Cycle

流れるように美しい、技術と品質。